

群馬県立伊勢崎工業高等学校 全日制 学校評価一覧表② (令和3年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。	A	A	A	① 学校行事全般、生徒は積極的に参加でき、具体的数値目標を達成することができた。86%の生徒が満足しているとの回答があった。	① 課題研究では、生徒が主体的に活動できている様子が伺える。	① 引き続き80%以上の結果を得るように、生徒の主体的な活動を取り入れる。	
		② 「自分の学校が好きだ」と感じている生徒の割合は、80%以上である。	B	A	A	② 生徒は85%、保護者は92%、自分の学校が好きだと回答した。生徒自身の所属する学科、部活、委員会等、学校行事を通して帰属意識を育むことができた。	② コロナ禍でも生徒が生き生きと学校生活を送っている様子が見受けられる。	② 引き続き80%以上の結果を得るように、生徒の各種活動場面で帰属意識を育てるよう工夫する。	
	2 資格取得指導や検定試験指導を行っていますか。	③ 年間を通じて1つ以上の資格取得にチャレンジし、90%以上の生徒が1つ以上の資格を取得している。	B	B	B	③ 全員受験の資格の設定、希望受験の資格の設定を多くしたため、学校全体で多様な資格取得を目指す生徒が多くなった。	③ 昨年度より多くの資格取得ができた。引き続き指導を継続してほしい。	③ 引き続き90%以上の結果を得るように、資格取得にチャレンジする生徒を増やす。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	A	A	A	④ 86%の生徒が学習指導に満足しているとの回答。生徒による授業アンケートのほか、職員研修を複数回実施し、授業改善を図ることができた。	④ 生徒が主体的に考える時間を増やせるような、授業改善に努めて欲しい。	④ 引き続き、校内研修を計画したり、授業アンケートの活用を推進し、授業改善を進めていく。	
		4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤ 学習内容の定着を図り、家庭での毎日の学習習慣を定着させ、家庭学習に取り組む生徒が70%以上である。	B	B	B	⑤ 家庭学習の必要性・重要性を生徒に説諭したり、各教科において課題を課してきたが、課題を校内で処理する生徒が目立った。	⑤ 家庭での学習環境を学校と家庭がよりいっそう協力してつくっていく必要がある。	⑤ 生徒へ家庭で行う課題を与えたり、校内教科に限らず、資格試験等の学習機会にも適切な家庭学習の課題も与える。
	5 生徒の主体的な学びを引き出す「総合的な探究の時間」(課題研究)を行っていますか。	⑥ 学力の向上を実感している生徒が70%以上である。	A	A	A	⑥ 学習内容を理解している生徒が84%に達した。方策に沿って改善を重ねてきた結果、具体的数値目標を達成することができた。	⑥ 生徒が主体的に考える時間を増やし、授業に積極的に参加できる工夫があると良い。	⑥ 80%以上の結果に満足せず、継続、向上できるように、授業改善を行う。	
		⑦ 一連の学習活動(課題設定、調査・研究、まとめ、発表等)に主体的に取り組んだと自己評価している生徒が70%以上である。	A	A	A	⑦ 95%の生徒が課題研究に積極的に取り組んでいるという結果が得られた。研究テーマの設定をはじめ、主体的・協働的な学習活動になるよう工夫していく。	⑦ 研究発表は年々上手になっている。いろいろなことに興味を持ち、知識・技術を深める活動を継続してほしい。	⑦ 研究テーマ設定から生徒の主体的・協働的な学習活動になるよう授業改善を継続する。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧ 職員会議や学年会議、科会議等諸会議において、生徒に関する情報交換を月に3回程度行っている。	A	A	A	⑧ 方策に沿って、学校全体であらゆる情報を共有できるよう各学年、委員会、学科等の会議を実施してきた。	⑧ 情報共有をより組織的に進めて欲しい。	⑧ 全職員が常に最新の情報を把握できるよう、朝会をはじめ、各種会議で情報発信機会を設ける。	
		⑨ 職員、来校者、生徒同士にあいさつのできる生徒が80%以上である。	A	A	A	⑨ 教員間で共通理解をし、指導を継続してきた。	⑨ しっかりと挨拶をしてくれる生徒が多い。	⑨ あいさつの必要性を理解させつつ、現在の指導を継続する。	
		⑩ 月1回以上、校内の安全点検を実施し、環境の整備に努めている。	A	A	A	⑩ 教員が安全点検をするだけでなく、実習等の授業の中で、安全教育を実施した。	⑩ 校内の清掃はしっかりとした指導を継続してほしい。	⑩ 実習等の授業中に、安全指導をより充実させる。	
		⑪ 生徒の情報収集や共有する機会を毎月作り、いじめ防止対策委員会を各学期に1回以上行っている。	A	A	A	⑪ 第2回の点検・評価のとおり、方策に沿ったアンケート等による情報収集、教職員間の情報共有や委員会の実施を徹底してきた。	⑪ 現状の方策を継続してほしい。	⑪ 全職員で情報を共有化し、予防的な対応を継続する。	
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫ 家庭との連携を図りながら、生徒の欠席・遅刻をしないよう指導し全校で1日当たりの欠席者を6名以下、遅刻を10名以下にする。	B	B	B	⑫ 教務と生徒指導、学年・学科との情報を密にし、連続した欠席に迅速に対応し、欠席防止に向けて対応してきた。	⑫ 遅刻・欠席は学年により偏りがある。自転車事故は依然として多い状況にある。安全指導を工夫し、事故件数を減少させてもらいたい。	⑫ 学年・担任を中心として全職員で欠席防止に取り組むようにする。最新情報の発信機会を増やしたり、共有機会を増やす。	
		⑬ 規範意識を持っている生徒が80%以上である。	A	A	A	⑬ 規範意識は生徒・保護者ともに高い。	⑬ 規範意識の高い生徒が増えている。	⑬ 生徒指導部だけでなく、普段の取り組みの中で指導していく。	
	8 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑭ いじめ防止を理解している生徒が70%以上である。	⑭ いじめ防止を理解している生徒が70%以上である。	A	A	A	⑭ 相手を思いやることを理解している生徒が98%となった。	⑭ 現状の方策を継続してほしい。	⑭ 引き続き一連の活動において、相手を思いやる重要性を生徒に伝えていく。
			⑮ いじめ防止活動に取り組んでいる生徒が70%以上である。	A	A	A	⑮ 生徒のいじめ防止意識は高まってきた。	⑮ 現状の方策を継続してほしい。	⑮ 各クラスによる取り組みについても充実させる。
9 計画的な指導を行っていますか。		⑯ 進路実現に積極的に取り組む生徒が70%以上である。	A	A	A	⑯ 進路指導部、学年・各科との連携を強化し、多様化する生徒への指導を行った。	⑯ 地域に望まれる人材を育成してほしい。	⑯ 1年次から進路目標を立てられるように、学年行事も充実する。	
IV 生徒の主体的な進路選択についてしていますか。	10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰ 進路ガイダンス関連行事を年4回以上実施する。	A	A	A	⑰ 生徒の進路希望に合わせた進路ガイダンスを実施してきた。	⑰ 経験が豊富な方々の話を聞かせる機会を多くしてほしい。	⑰ 進路ガイダンスの実施回数だけでなく、内容の一層の充実を図る。	
		⑱ 進路に関する知識や意識を有する保護者が70%以上である。	A	A	A	⑱ 方策に沿って行事等を実施すると共に、進路に関する情報を提供してきた。	⑱ 保護者の目線に立った指導をしている。	⑱ 方策に沿った行事を実施し、保護者が希望している情報を提供する。	
		⑲ 学校からの進路に関する配布物に目を通している保護者が70%以上である。	A	A	A	⑲ オクレンジャー等で最新の進路情報を発信、またWebページへ掲載した。	⑲ 家庭との連携が必要である。三者面談は重要。	⑲ 継続して、発信方法と発信内容を検討し、進路情報が確実に伝わるよう工夫する。	
		⑳ 90%以上の3年生が、就職を希望する事業所を事前に訪問し、情報を収集している。	A	A	A	⑳ 就職希望者全員が見学を実施し、情報収集に励むことができた。	⑳ 生徒の進路希望を達成するために企業との連携を深めてほしい。	⑳ 事前指導から事後指導までを充実したものにし、指導体制を継続する。	
	㉑ 自分の適性を理解している生徒が80%以上である。	A	A	A	㉑ 各種適性検査・面談などを通じて、多くの生徒が自己の適性を理解してきている。	㉑ 生徒の適性と進路希望が一致する指導を継続して欲しい。	㉑ インターシップの再開に向け準備をする。各種適正検査等を有効に活用する。		

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	1.1 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑳ 学校の教育活動を人々に理解してもらうために「学校公開」を年3回実施している。	A	A	A	㉒ 保護者、地域の方を中心に学校を公開してきた。また、外部の地域のイベント等に参加するとともに、本校の情報も発信し、本校の情報発信機会を多く設定してきた。	㉒ まちなかイルミネーションなど、地域に根ざした活動ができている。ホームページなどもさらに充実させて欲しい。	㉒ 学校行事も含め、情報発信機会を増やせるよう工夫する。学校公開の内容にも一層の工夫を加える。
		㉓ 各工業科の特色を生かした取り組み、地域の小・中学校に対する広報活動、新聞を活用した広報活動を10回以上行う。	A	A	B	㉓ 地域活動にも積極的に協力し、イベント等に参加しながら広報活動を行うことができた。オープンスクールや説明会を通じて、広報活動も行うことができた。	㉓ 新聞や広報など、伊工の記事を多く目にした。発信を継続してほしい。	㉓ Webページを常に、最新の情報に更新し、地域に情報発信する。新聞等、報道関係にも積極的に発信する。
		㉔ 「学校の様子がよく分かる」と、保護者の70%以上が答えている。	A	B	B	㉔ 保護者宛を中心に学校の情報発信手段を多様化させ、発信してきた。アンケートで72%の保護者が進路に関する配布物に目を通していると回答したので、情報は伝わるようになった。	㉔ 保護者が学校に関心を示すようにいろいろな情報を発信してほしい。	㉔ 保護者が参加できる学校行事は積極的に案内を呼びかける。
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	1.2 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉕ ICTを活用した授業に生徒の70%以上が満足している。	A	A	A	㉕ 89%の生徒がICTを活用した授業に満足している。教員・生徒ともにChromebookを使用した授業が定着してきた。	㉕ ICT機器を有効活用してほしい。	㉕ 引き続き、職員研修等を活用し、ICTを活用できる授業改善を推進していく。
	1.3 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉖ ICTを活用した通知に生徒・保護者の70%以上が満足している。	A	A	A	㉖ オクレンジャー・クラスルームを使用してペーパーレス化を推進した。アンケートの回答率も高い。	㉖ 現状の方策を継続してほしい。	㉖ 引き続き、ペーパーレス化を推進するとともに、情報発信に努める。